



具体化。

株主のみなさまへ

第104期 報告書

平成24年1月1日 ▶ 平成24年12月31日

昭和電工株式会社

証券コード 4004



第104期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **市川 秀夫**

● 厳しい企業経営環境で推移しました

当期の国内経済は、年初において生産活動に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、年央以降、欧州の政府債務危機を背景とした海外経済の減速や中国における経済成長の鈍化、円高等の影響により輸出や生産が減少するなど、総じて厳しい状況で推移しました。

このように厳しい企業経営環境ではありましたが、当社グループは、中期経営計画「PEGASUS(ペガサス)」において、「グローバル市場で特徴ある存在感をもつ化学企業」を目指し、積極的な事業競争力強化施策を推進いたしました。

しかしながら、当期の連結営業成績につきましては、売上高は、ハードディスクの販売数量増加はありまし

たが、石油化学部門において設備不具合が発生したこと、アルミニウム部門において自動車空調用熱交換器事業を譲渡したこと等により、7,398億11百万円と前期比13.4%の減収となりました。営業利益は、エレクトロニクス部門は増益となりましたが、他の部門は減益となり、総じて281億8百万円と前期比40.6%の減益となり、経常利益は、234億48百万円と前期比41.4%の減益、当期純利益は、93億68百万円と前期比44.8%の減益となりました。

期末配当につきましては、前期と同額の1株につき3円とさせていただきます。

● 成長分野への設備投資と有利子負債の継続的削減を実施しました

当期の設備投資につきましては、ハードディスクの生産能力増強工事、パワー半導体用SiCエピタキシャルウェハーの生産能力増強工事、川崎地区(扇町・大川)間蒸気エネルギー利用効率化工事を完了いたしました。さらに、その他の設備増強、合理化、生産維持、環境保全等の工事を実施し、当期の設備投資総額は、425億円となりました。

CONTENTS

株主の皆様へ	1	CSRトピックス	10
事業別の概況	3	連結財務諸表	11
トピックス	5	会社概要	13
中期経営計画「ペガサス」	7	株主ひろば	14
グローバルネットワーク	9		

当期の資金調達につきましては、金融機関からの借入金ならびに普通社債およびコマーシャル・ペーパーの発行により調達を行いました。また、引き続き財務体質の強化に取り組み、当期末有利子負債残高は、前期末に比べ50億円減少し、3,423億円となりました。

なお、当社は、株式会社日本政策投資銀行が、災害に対する企業の防災力と事業継続力を評価する「DBJ BCM格付」において、最高ランクの格付を取得し、当該格付に基づく融資を受けております。

🌐市場構造、事業環境の変化に素早く対応します

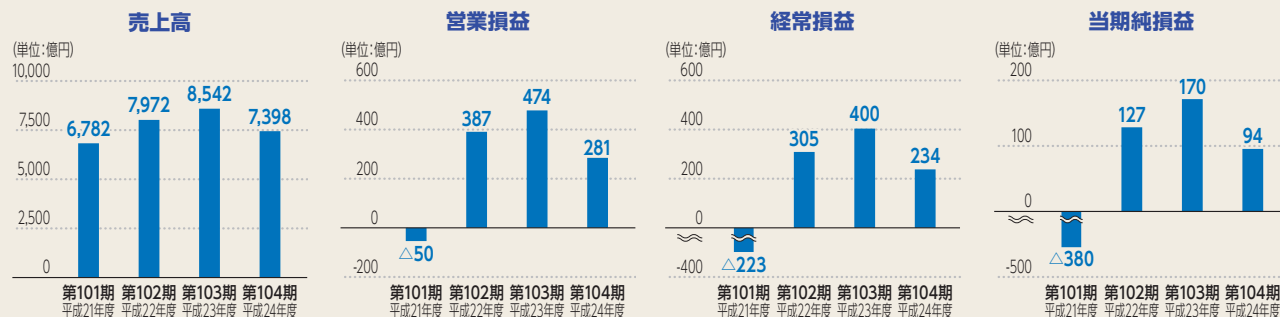
今後の国内の経済見通しにつきましては、前半は欧州経済の低迷や中国の内需停滞などにより厳しい状況で推移することが予想され、後半からは米国経済を中心に緩やかな景気回復が期待されるものの、海外経済の下振れ懸念、電力価格の上昇等が景気下押しリスクとなり、引き続き厳しい企業経営環境が予想されます。

一方、豊かさと持続性が調和する社会の実現に向け、「生活の利便性や快適性の向上」、「電子産業分野における一層の高度化」、「健康で安全な社会の実現に向けての地球温暖化対策と環境の保全」、「化石エネルギー依存度低下、省エネルギー推進」など、人類共通の諸課題に対応するための新技術の開発と事業化が強く求められています。

中期経営計画「PEGASUS (ペガサス)」につきましては、7-8ページで進捗状況をご報告いたしますが、近年、当社グループの主力市場が国内から中国、韓国、台湾等の海外にシフトするなど大きな市場構造の変化が生じております。当社グループは競争環境の状況変化に対応できるよう、グローバルサプライチェーンの強化と国内事業の収益性改善に取り組み、多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

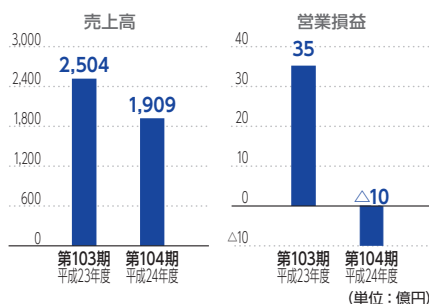
株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト



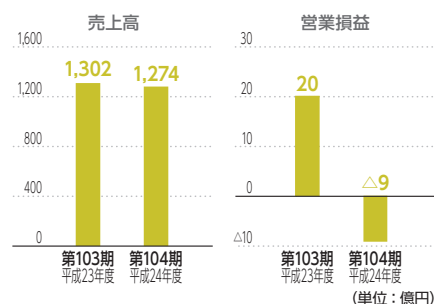
石油化学部門

オレフィン事業は、大分コンビナートにおけるエチレンプラントの設備不具合に加え、アジア市場の需要減少により販売数量が大幅に減少し減収となりました。有機化学品事業は、酢酸ビニル、酢酸エチル等の販売数量が減少し減収となりました。なお、平成24年3月18日に設備不具合により停止したエチレンプラントは、6月13日より運転を再開いたしております。



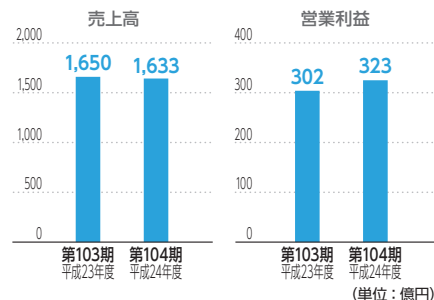
化学品部門

機能性高分子事業、産業ガス事業、情報電子化学品事業は、それぞれ前期並みの売上高となりました。基礎化学品事業は、液化アンモニアは増収となりましたが、アクリロニトリルは需要減少により販売数量が減少したことに加え、市況も低迷したことにより減収となり、総じて減収となりました。



エレクトロニクス部門

ハードディスクは、前期に実施した生産能力増強の効果が顕現し、また、当社が優位性を持つ高容量品の販売数量が増加し増収となりました。化合物半導体は、電機業界の生産調整の影響は受けたものの、液晶バックライト向けの販売数量が増加し小幅に増収となりました。レアアース磁石合金は、顧客業界の在庫調整の影響を受け大幅な減収となりました。



24.6%
石油化学
部門

16.4%
化学品部門

21.1%
エレクトロニクス
部門

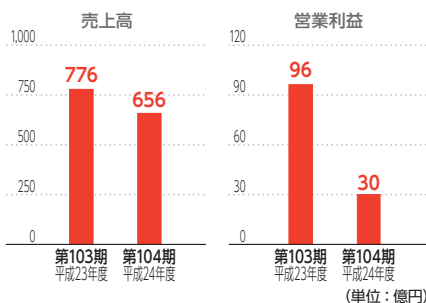
8.5%
無機部門

11.9%
アルミニウム
部門

17.5%
その他部門

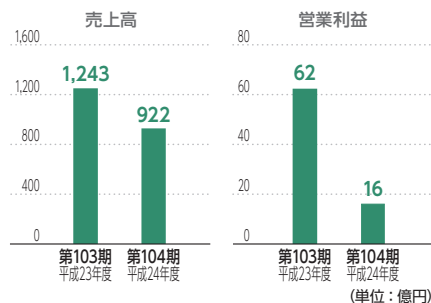
無機部門

黒鉛電極事業は、米国は販売価格の上昇により増収となりましたが、アジア市場向けは販売数量減少等により減収となり、総じて減収となりました。セラミックス事業は、電子材料分野向けの販売数量が大幅に減少し減収となりました。



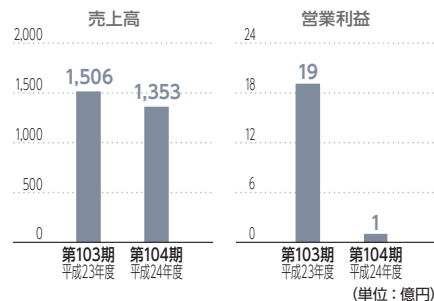
アルミニウム部門

圧延品事業は、電解コンデンサー用高純度箔が顧客の厳しい生産調整の影響を受け大幅な減収となりました。押出・機能材事業は、レーザービームプリンター用シリンダーの販売数量減少等により減収となりました。ショウテック事業、アルミ缶事業は、前期並みの売上高となりました。熱交換器事業は、自動車空調向け事業を平成24年1月に株式会社ケーヒンへ譲渡したため大幅な減収となりました。



その他部門

リチウムイオン電池材料は、スマートフォン向けの販売数量は増加しましたが、自動車向けが低迷し減収となりました。昭光通商株式会社は、金属事業等の販売減少により減収となりました。



売上高構成比率

2012/7

化学品部門

セシウム吸着・除去剤の不溶性フェロシアン化物の安定固化に成功

ユニオン昭和株式会社は、東北大学大学院の三村教授指導の下、放射性セシウムを吸着した不溶性フェロシアン化物にゼオライトを混合することで、加熱処理時の熱分解によって揮発したセシウムを外部に放出させず、長期安定的に固化することに成功いたしました。

2012/7

化学品部門

植物由来原料を用いた生分解性樹脂「バイオノーレ[®]」の生産を開始

当社は、使用後に水と炭酸ガスに分解される完全分解型の生分解性ポリエステル樹脂「バイオノーレ[®]」について、原料のコハク酸をデンプンや糖を原料とした植物由来のバイオコハク酸に切り替えて商業プラントで製造することに成功し、サンプル出荷を開始いたしました。



バイオノーレ[®]製品

2012/8

その他部門

リチウムイオン電池向け包材の生産能力を増強

昭和電工パッケージング株式会社は、スマートフォンやタブレットPC等のリチウムイオン電池向けに需要が拡大しているアルミラミネートフィルムの生産能力増強を決定いたしました。2013年下期には生産能力を2010年比で2倍とする予定です。



アルミラミネートフィルム

2012/8

パワー半導体用SiCエピタキシャルウェハー生産能力を増強

当社は、パワー半導体用SiCエピタキシャルウェハーの生産能力を、設備の増設と生産技術の向上により、従来の2.5倍にあたる月産1,500枚に増強いたしました。SiCパワー半導体は自動車・鉄道車両・家電製品等様々な分野において、特にモーターの回転制御等に用いられるインバーター向けに需要の伸長が期待されています。



SiCエピタキシャルウェハー

2012

7

8

9

2012/9

アルミニウム部門

マレーシアにアルミニウム
鋳造工場
新設を決定

当社は、自動車向けの部品などに用いられるアルミニウム鋳造事業について、マレーシア ジョホール州に工場を設立することを決定いたしました。2014年中に量産を開始する予定で、自動車市場の高い成長が見込まれるアジア地域に向けた供給体制を強化してまいります。



ショウティック[®]製品

無機部門

2012/10 **最高レベルの光触媒活性をもつ酸化チタンの開発**

昭和タイタニウム株式会社は、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構のプロジェクトにおいて、自然エネルギーを利用した環境浄化技術として期待される紫外光応答型光触媒の材料として、最高レベルの活性を持つ酸化チタンの開発に成功いたしました。また、同社は、同プロジェクトにおいて、室内で空気浄化や抗ウイルス等の機能発揮が期待される可視光応答型光触媒の量産技術を確立しております。

化学品部門

2012/12 **精製ゲル市場への新規参入**

当社は、バイオ医薬や工業分野の製造工程において、培養液や反応液などから必要な成分を取り出すために使用される精製ゲル市場への参入を決定し、オーストリアの精製ゲル開発製造会社BIA Separations社と業務・資本提携に関する契約を締結いたしました。



BIA Separations社
精製ゲル分析製品

エレクトロニクス部門

2012/11 **福島県川内村の植物工場に栽培技術は無償提供**

当社は、福島県川内村で現在建設中の「川内高原農産物栽培工場」に対し、植物育成に最適な当社製LED素子を光源とする、山口大学農学部しげふゆの執行教授と共同開発した植物工場向け高速栽培技術は無償で提供することにいたしました。



川内村 農産物栽培工場
完成予想図

12

11

10

当社のネットワーク

国内と海外に広がるネットワークで個性的な製品を安定的かつタイムリーに供給しています



国内

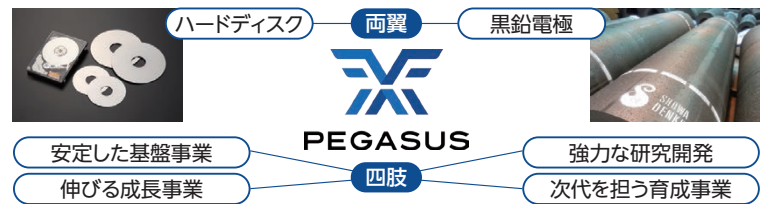
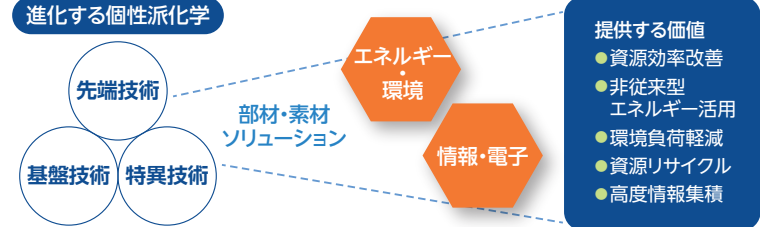
海外

中期経営計画 ペガサス 進捗ご報告

当社グループは、2011年より5か年の中期経営計画「ペガサス」を推進しております。

ペガサスでは、グローバル市場でのニーズに対応するため「エネルギー・環境」と「情報・電子」を中核事業領域と定め、また、当社グループのあるべき姿をギリシャ神話のペガサスに見たて、ハードディスク(HD)と黒鉛電極をペガサスの両翼に、安定した基盤事業、伸びる成長事業の両翼に、安定した基盤事業、伸びる成長事業、次代を担う育成事業、強力な研究開発をその4本の足に具現化しました。このペガサスにより、当社グループは、個性派化学をさらに進化させ、強力かつ多様な事業群をグローバル展開することにより、各市場におけるリーディングポジションの確立を目指しております。

【中核事業領域】豊かさと持続性が調和する社会の創造に貢献



I ペガサス2年間の進捗

これまでの2年間におけるペガサスの進捗状況は次のとおりです。

HD	シンガポール拠点の生産能力を増強、世界最高容量の垂直磁気記録方式第6世代(2.5インチ、500GB)の世界初の量産
黒鉛電極	大町事業所の基盤強化、米国拠点の生産能力増強と中国黒鉛電極メーカーの持分取得を決定
石油化学	大分コンビナート内における合併会社設立などによる競争力強化
化学品	半導体用高純度ガスにおける日本・台湾・中国拠点の生産能力増強、産業ガス事業の強化
レアアース	希少性の高いジスプロシウムの使用量を減らした、また、ジスプロシウムフリーの磁石合金の開発推進
セラミックス	2014年からの操業開始に向けインドネシアにアルミナ工場を建設
アルミニウム	電解コンデンサー用高純度箔、レーザービームプリンター用シリンダーなど高付加価値製品に事業を特化
先端電池材料	電気自動車やスマートフォン向けのリチウムイオン電池用負極材、正負極添加剤、アルミラミネートフィルムの生産能力増強
SiCエピタキシャルウェハー	一部家電製品や地下鉄車両への搭載が始まったSiCパワースイッチ半導体市場に対応する生産能力増強と品質の向上
植物工場用LED	当社独自技術による高輝度LEDを光源とする高速栽培技術を共同開発し、植物工場市場を開拓

II 2013年 ペガサスを上昇軌道へ

1> 重点項目

本年の重点項目として、「グローバル・サプライチェーンの強化」と「国内事業の収益性改善」に取り組みます。

また、本年1月より、経営判断の迅速化、効率的なオペレーション、研究開発成果の早期顕現を目指した組織改定を実施し、すべての事業運営においてグループ全体最適に合う経営体制を確立します。

1. グローバル・サプライチェーンの強化

既存事業のさらなる拡大を見込む中国と、世界経済の新たな成長地域として期待されるアセアンにおいて、生産拠点の新設に加え、開発、生産、販売を結びつけるグローバル・サプライチェーンの構築を目指します。

〔主要製品生産拠点の進出予定地〕



2. 国内事業の収益性改善

事業構造の見直しによる体質強化を進めます。

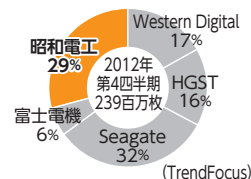
- 開発、生産体制の見直し
- ターゲットコストの設定
- 新たなマーケットの開拓
- 新たな需要の創出

2> 個別事業戦略

1.HD

パソコン需要の低迷はあるものの、今後、クラウド化の進展によるサーバー需要の拡大が見込まれ、高容量化など技術力の優位性で常に業界をリードしていきます。

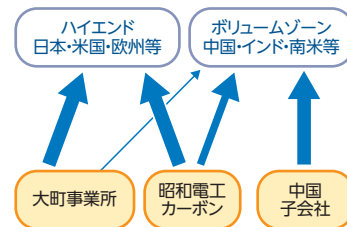
- 垂直磁気記録方式第7世代(650GB)を2013年央に上市予定
- すべてのHDドライブメーカーに納入
- 生産性向上、製品構成の最適化



2. 黒鉛電極

中長期的に増加が見込まれる電炉鋼の生産に対応し、ハイエンドからボリュームゾーンまでをカバーする供給体制を確立します。

- 昭和電工カーボンの生産能力増強(2014年までに年産3万トン増強)
- 中国電極メーカーを子会社化
- 大町事業所のマザー工場としての機能強化



3. 先端電池材料

リチウムイオン電池向けに、アルミラミネートフィルムの生産能力を増強するとともに新部材の事業化を加速します。

4. SiC エピタキシャルウェハー

SiCパワー半導体市場の立ち上がりに対応して、生産能力を順次増強し、品質の向上と大口径品の開発を加速します。

高速液体
クロマトグラフィ用カラム

Shodex®

液体分析のプロ “金の魚のShodex®”

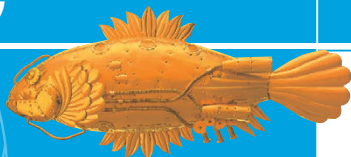
Shodex®は高速液体クロマトグラフィ (HPLC) 用カラムであり、化学物質の分析に使われています。特殊な物質が充てんされたカラムに分析対象を高速 (高圧) で通すことで、物理的、化学的特性に応じて物質を分離、分析することができます。

Shodex®は、安定性に優れたポリマー系充てん剤を用いており、物質を高感度に分離することが可能です。また、国内外の多くの機器メーカーの装置に対応でき、化学、環境、食品、製薬、バイオなど多くの分野で幅広く利用され、社会の発展に貢献しています。

また、当社としては珍しい末端顧客に直接販売する製品で、機械と液体を連想させる独特な魚のマークと共に長年にわたり国内外の研究者に慣れ親しまれています。

大小無数のメーカーがひしめくHPLC業界の中で、日米欧を中心とした成熟市場においては、各国に張り巡らせた販売網でShodex®の強いブランド力を活かした営業を、中国、インドを含めた新興国の成長市場では、水質、食品検査など現地ニーズに対応したきめ細かな営業で事業活動を展開しています。

さらに、当社は、これまで培った技術を発展させて精製ゲル市場への参入を決定しました。オーストリアの精製ゲル開発製造会社 BIA Separations社との業務・資本提携により、バイオ医薬の分析や精製工程へ新たな製品を投入し、Shodex®を含めた分離精製事業の強化を目指します。



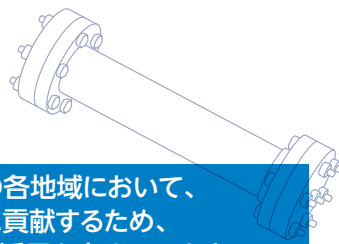
海外への展開

当社グループでは、海外の各地域において、人々の安心・安全な生活に貢献するため、様々な分野でShodex®の活用を広めています。

世界最大の学会や展示会が開催されるアメリカは、常に最先端の情報が集まる絶好のPRの場であると同時に、多くの競合他社がひしめく最大の販売激战区でもあります。

当社では昭和電工アメリカ(SDA)と協力し、世界最大の分析展示会PITTCONへの出展や専門誌への製品記事投稿など、Shodex®の広報活動に努めています。

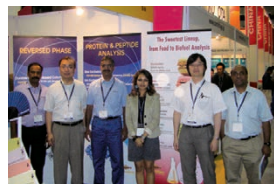
また昨年には、SDAの現地スタッフを増員し、Shodex®の拡販体制を強化しました。



アナハイム HPLC2012
学会付設展示会の様子

2万社ともいわれる多くの製薬メーカーを抱え、BRICsの一角として大きな成長が見込まれるインドにも当社は積極的に展開しています。現地展示会や学会への参加、重要顧客向けの製品説明会の開催、有力な販売店でのスタッフ教育など、中長期的な観点からShodex®の広報活動を展開しています。

さらに東南アジアの主要国はもとより、昨今注目の集まるミャンマー市場においても現地での活動を開始しています。



ムンバイ 展示会/Shodex®セミナーの様子



社会・ 環境への 取り組み

当社グループは、事業活動を通じてすべてのステークホルダーの皆様へ信頼をいただき、応援していただけること、社員が誇りを持って働ける場を築きあげることがCSRの基本と考えております。当社グループが目指す「豊かさを持続性が調和する社会の創造に貢献する」ことへの取り組みとして、化学・環境教育、地域対話、海外での活動などを通じた社会との関わりについてご紹介いたします。

エコ☆カップ
いかだ下り



「プロジェクトQ」活動を進めています

川崎事業所では、若手従業員による事業所の組織活性化活動である「プロジェクトQ」の一環として、様々な活動を展開しています。廃材などで作成したいかだで多摩川を下るイベントに参加し、自然・環境について理解を深めたり、「子どもの科学実験教室」を開催し、小学生に化学の魅力を広める活動を行ったりするなど、地域との交流活動に積極的に取り組んでいます。



子どもの
科学実験
教室

大町・中綱湖清掃活動に参加しました

大町事業所では、大町市の代表的な観光地である仁科三湖の一つの中綱湖での湖畔清掃に毎年参加しています。地域の美化活動へ積極的に取り組むことを通じて、地域の皆様とのより良い関係を築いていきたいと考えています。



中綱湖清掃活動

「福島・会津企業マルシェ」を開催

昨年に引き続き、福島県会津若松市、喜多方市の商工会議所との共催で「福島・会津企業マルシェ」を開催し、当社社員をはじめ多くの方々に、物産品をお買い求めいただきました。今後も福島県物産の支援につながる活動を続けていく予定です。



福島・会津企業マルシェの様子

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期 平成24年12月31日現在	前 期 平成23年12月31日現在
資産の部		
流動資産	342,108	347,890
現金及び預金	51,606	55,187
受取手形及び売掛金	138,189	139,364
たな卸資産	121,761	123,715
繰延税金資産	5,733	3,177
その他	24,925	26,633
貸倒引当金	△ 107	△ 186
固定資産	591,054	593,413
有形固定資産	473,253	482,363
無形固定資産	10,318	11,125
のれん	120	1,441
その他	10,198	9,684
投資その他の資産	107,483	99,925
投資有価証券	67,778	59,570
繰延税金資産	27,494	27,533
その他	12,753	13,713
貸倒引当金	△ 542	△ 891
資産合計	933,162	941,303

(単位:百万円)

科目	当 期 平成24年12月31日現在	前 期 平成23年12月31日現在
負債の部		
流動負債	323,118	349,846
支払手形及び買掛金	107,241	117,152
借入金・社債・コマーシャルペーパー	135,364	147,535
その他	80,513	85,159
固定負債	295,078	295,711
借入金・社債	206,898	199,772
繰延税金負債	2,110	2,460
再評価に係る繰延税金負債	39,905	40,025
退職給付引当金	23,433	24,720
その他	22,731	28,735
負債合計	618,196	645,557
純資産の部		
株主資本	255,812	251,494
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	62,222	62,222
利益剰余金	53,172	48,851
自己株式	△ 145	△ 143
その他の包括利益累計額	16,922	433
少数株主持分	42,232	43,819
純資産合計	314,966	295,745
負債純資産合計	933,162	941,303

POINT

- 売上高** ハードディスクの販売数量増加はありましたが、特にエチレンプラントの設備不具合による販売数量減少、自動車空調用熱交換器事業の譲渡の影響が大きく、前期比で13.4%の減収となりました。
- 営業利益** 石油化学部門の販売数量減少に加え、化学品部門のアクリロニトリル、アルミニウム部門の電解コンデンサー用高純度箔等の販売数量減少により、前期比で40.6%の減益となりました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー** 利益の減少等により前期比161億円の収入減少となる533億円となりました。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで	平成23年1月1日から 平成23年12月31日まで
1 売上高	739,811	854,158
売上原価	628,628	719,322
売上総利益	111,183	134,836
販売費及び一般管理費	83,076	87,479
2 営業利益	28,108	47,357
営業外収益	5,567	4,576
営業外費用	10,226	11,915
経常利益	23,448	40,018
特別利益	812	2,200
特別損失	12,973	16,142
税金等調整前当期純利益	11,288	26,076
法人税、住民税及び事業税	4,925	4,683
法人税等調整額	△ 4,674	1,720
少数株主損益調整前当期純利益	11,037	19,672
少数株主利益	1,670	2,692
当期純利益	9,368	16,980
一株当たり当期純利益	6.26円	11.35円

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで	平成23年1月1日から 平成23年12月31日まで
3 営業活動による キャッシュ・フロー	53,310	69,437
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 40,209	△ 38,672
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 20,150	△ 17,295
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3,264	△ 1,941
現金及び現金同等物の 増減額	△ 3,786	11,529
現金及び現金同等物の 期首残高	55,026	43,459
その他の現金及び 現金同等物の増減額	14	38
現金及び現金同等物の 期末残高	51,254	55,026

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	140,564	62,222	48,851	△ 143	251,494	433	43,819	295,745
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 4,490		△ 4,490			△ 4,490
当期純利益			9,368		9,368			9,368
自己株式の取得				△ 3	△ 3			△ 3
自己株式の処分		△ 1		1	0			0
その他			△ 557		△ 557			△ 557
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						16,490	△ 1,587	14,903
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 1	4,320	△ 2	4,318	16,490	△ 1,587	19,221
当期末残高	140,564	62,222	53,172	△ 145	255,812	16,922	42,232	314,966

■ 連結決算対象会社

連結子会社数:38社

持分法適用会社数:19社

■ 会社概要 (平成24年12月31日現在)

社 名 昭和電工株式会社
 英 文 社 名 Showa Denko K.K.
 本 社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号
 電話(03)5470-3111(総務グループ)
 設 立 昭和14年6月
 資 本 金 1,405億64百万円
 従業員数(連結) 9,890名
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

■ 役員 (平成25年3月27日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長 高橋 恭平
 代表取締役社長兼社長執行役員 市川 秀夫
 取締役兼常務執行役員 鯉沼 晃
 取締役兼執行役員 酒井 仁和
 取締役兼執行役員 福田 俊司
 取締役兼執行役員 岩崎 廣和
 取締役兼執行役員 天野 賢
 ※取締役 秋山 智史
 ※取締役 森田 章義
 常勤監査役 野村 一郎
 常勤監査役 坂本 明
 ※監査役 手塚 裕之
 ※監査役 小原 之夫
 ※監査役 齋藤 聖美

執行役員

常務執行役員 宮崎 孝
 常務執行役員 白石 俊一
 執行役員 水野 義治
 執行役員 Robert C. Whitten
 執行役員 中條 哲夫
 執行役員 西村 嘉介
 執行役員 水谷 温
 執行役員 武藤 三郎
 執行役員 石川 二朗
 執行役員 上口 啓一
 執行役員 高崎 完二
 執行役員 田仲 均
 執行役員 新井 龍晴
 執行役員 河村 伸彦
 執行役員 田中 淳
 執行役員 森川 宏平

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

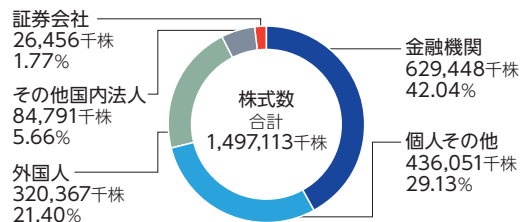
■ 株式の状況 (平成24年12月31日現在)

発行可能株式総数 3,300,000,000株
 発行済株式総数 1,497,112,926株
 株主数 105,843名

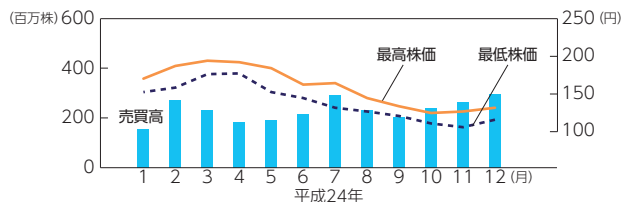
■ 上位10名の株主 (平成24年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	80,266	5.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	57,552	3.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	56,633	3.78
富国生命保険相互会社	55,168	3.68
全国共済農業協同組合連合会	44,920	3.00
株式会社損害保険ジャパン	41,868	2.80
第一生命保険株式会社	40,500	2.71
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	27,147	1.81
明治安田生命保険相互会社	26,447	1.77
日本生命保険相互会社	25,887	1.73

■ 株式の所有者別状況 (平成24年12月31日現在)



■ 株式データ



『復興特別所得税』についてのご案内

（このご案内は2013年1月時点での情報をもとに作成しております。）

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)」の施行に伴い、所得税全体を対象として、**2013年1月から2037年12月までの25年間、基準所得税額に対し2.1%の『復興特別所得税』が追加課税されることになりましたので、ご案内申し上げます。**

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

		2013年	2014年～2037年	2038年～
上場株式等の配当等に係る税金と税率	所得税	7%	15%*	15%
	復興特別所得税	0.147%	0.315%	—
	住民税	3%	5%*	5%
合計		10.147%	20.315%	20%

※ 証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

- 上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主さまにつきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。
- 詳細につきましては、所轄の税務署等にお問い合わせください。

口座振込による配当金受取のご案内

配当金のお受取方法について、より安心、確実にお受け取りできる下記の口座振込による方式をお勧めいたします。口座振込に関するお手続き等の詳細につきましては、お取引の証券会社もしくは当社の株主名簿管理人 みずほ信託銀行(0120-288-324)へお問い合わせください。

◆ 個別銘柄指定方式 ◆

銀行等の預金口座を個別銘柄ごとに指定して受領する方法です。

◆ 登録配当金受領口座方式 ◆

取引先の1つの証券会社に1つの銀行の預金口座を届け出ることにより、保有するすべての銘柄の配当金を、その口座でまとめて受け取ることができます。

◆ 株式数比例配分方式 ◆

取引先の1つの証券会社に届け出ることにより、証券会社の株式の口座残高(配当基準日現在の残高)に応じた配当金を、各証券会社の取引口座において受け取ることができます。

各種IRツールのご紹介

当社は、半期毎の報告書「株主のみなさまへ」、アニュアルレポート(英文)やCSRレポート等の各種IRツールを通じて、株主の皆様を始めとする多くの皆様に当社グループの事業活動をご理解いただけるよう努めております。

各種IRツールにつきましては、当社WEBサイトでご覧いただけます。



コーポレートサイト

▶▶ <http://www.sdk.co.jp/ir/library.html>



IRサイト

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 3月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 12月31日
 (2) 中間配当 6月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

公告方法

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載URL
<http://www.sdk.co.jp/>

単元株式数

1,000株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 本店証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL. 0120-288-324

(郵便物送付先)
 (電話お問い合わせ先)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「[ほふり] (株式会社証券保管振替機構) へ預託されていなかった株主様については、株主名簿管理人である左記のみずほ信託銀行株式会社の口座(特別口座といいます。)で管理させていただいております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。

未払配当金については、株主名簿管理人に加え、株式会社みずほ銀行の全国本支店でもお手続きいただけます。

ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。

なお、単元未満株式の買取請求につきましても、お取扱いいたします。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



IPA (インプロピルアルコール) 等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



VOC (揮発性有機化合物) の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。



色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。